

感染拡大まだまだ進行中ー沼田市内でも急増中

国民への罰則よりも政府・行政の施策強化を

11都道府県に「緊急事態宣言」が出ていますが、感染拡大はおさまりません。そのような中、通常国会が開会しました。菅政権は、時短や自粛命令に出来ない店舗や入院拒否感染者、コロナ感染者の入院協力に出来ない病院などに罰則を設けるとの提案をしています。

政府のコロナ対策は、PCR検査数を増やさないなど感染症に対する対応としてはまったく物足りない。拡大防止対策では、後手後手に回って、自粛要請に見合った補償がない、それどころかGoToキャンペーンをはじめ感染をひろげる経済対策を進めてきたなど、まさに今日の事態は政府がまねいた「人災」です。

菅政権はこの難局を乗り切るには、特措法と感染症法の改定案で政府や自治体の方針に従わない国民に罰則を与えることが必要だと、感染拡大は国民側の責任だと「問題をすり替え」て、いまの事態の反省もお詫びもなく、具体的な対策強化もなく済まそうとしています。

今国会で、国民の命と暮らしを守るための真剣な議論を期待しようではありませんか。

利根沼田保健所管内における感染者 1月2日以降

日付	年齢	性別	職業	発症日	症状
1月5日	40代	女性	内田病院	1日	(渋川保健所内)
6日	70代	女性	無職	4日	発熱
6日	50代	男性	会社員		無症状
6日	10代	男性	学生		無症状
7日	50代	男性	会社員	7日	安定
7日	60代	男性	農業	7日	安定
7日	60代	女性	無職	7日	無症状
7日	70代	男性	自営業	3日	発熱急性呼吸器
7日	70代	男性	無職	7日	発熱・鼻汁
9日	70代	女性	無職	8日	無症状
12日	60代	男性	会社員	10日	肺疾患
12日	30代	男性	医療従事者	12日	安定



井之川博幸市議

国保税来年度引き上げへ！

厳しいコロナ禍で見送りを主張・井之川委員

先頃行われた沼田市議会民生福祉委員協議会で市の担当課長は、国保財政は来年度に赤字になると想定されるので、3月議会に税率を引き上げる議案を提出する方向で検討していると報告しました。

井之川博幸委員は、「コロナ禍の中で被保険者の所得が低下するので、来年度の税率を引き上げなければ赤字になり、その後も赤字が増えていくと想定されることが理由では、コロナ禍で苦しんでいる被保険者にさらに負担を増やすことになり、まさに血も涙もないやり方だ」と批判し、「コロナ禍で医療抑制も広がり、来年度は大幅な赤字にならないのではないかと、まず引き上げずに様子を見るべきだ」と主張しました。

介護保険料の見直しも検討されており、大幅な引き上げにはならないものの引き上げる方向で検討されています。

年末年始の帰省や家庭内感染で増加

日付	年齢	性別	職業	発症日	症状
1月12日	60代	男性	会社員	8日	安定
14日	10代	女性	中学生	13日	頭痛・倦怠感
14日	60代	女性	無職	14日	発熱・咳
18日	60代	男性	無職	17日	安定
18日	30代	男性	会社員	17日	発熱下痢頭痛
18日	40代	女性	無職	13日	安定
18日	40代	男性	会社員	16日	発熱
18日	10歳未	男性	小学生	17日	発熱
18日	10歳未	女性	園児	18日	鼻汁
19日	30代	女性	保育士	19日	咽頭痛

利根沼田管内でも1月以降21人と急激に感染者が増えています。内田病院職員は渋川保健所管内ですが、内田病院ホームページで公開されています。

2021年1月24日 No.1002

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料